

韓国留学を終えて

情報文化学科 2年 本間志穂

●はじめに

私は8月31日～12月26日までの約4ヶ月間、韓国ソウル市内にあるキョンヒ大学へ語学留学をしてきました。私は中学生の頃から韓国ドラマの影響で、韓国語や韓国の文化に興味を持ち始め、更に大学で韓国語を学んだことがきっかけで、実際に韓国へ行き現地の人達や文化と触れ合い、体験してみたいという気持ちが大きくなりました。留学前は、もちろん楽しみや期待も大きかったのですが、本当に韓国に1人で生活できるのだろうか、韓国語の能力を上げて帰って来ることができるのだろうかという不安もたくさんありました。しかし、実際に韓国に行ってからそんな不安も吹き飛ばしてくれるような楽しいことが毎日たくさん待っていて、帰国が近くなるとまだ帰りたくない、韓国にもっといたいと思っている自分がいました。留学をして以前よりももっと韓国という国が大好きになり、離れたくないと思えるような友達がたくさんでき、心から留学して良かったと思っています。



●授業

韓国語の授業は朝9時～13時までの4時間あり、初めの1ヶ月間は夏学期の短期で留学している人達と一緒に授業を受けました。クラスはテストと面接によって分けられ、私のクラスはほとんどが日本人で、中国人が2人でした。この授業の内容は日本で学んできたことの復習が中心で、授業はすべて韓国語で行われていたのですが、すんなりと理解することができました。この学期では課外学習が週に一度行われ、陶器を作ったり、民族村に行き韓国文化を学んだり、ソウルタワーや景福宮のような観光地にも行くことができ、とても楽しかったことを覚えています。

10月に入ると初級2の授業が始まり、新しいクラスになりました。夏学期とは違い、日本人が少なく多国籍なクラスだと聞いていたので最初は不安でしたが、みんな明るくとても良い人達ばかりだったのですぐに馴染むことができました。私のクラスには、中国、香港、台湾、インドネシア、スウェーデン、サウディアラビア、ベトナムと国籍も年齢も様々な友達がいました。授業の内容は、新しい文法や単語ばかりで少し戸惑うこともありましたが、分からないところは何度



も先生や友達に聞いて理解していたので、そんなに不安になることもありませんでした。また、先生方も常に私達のことを気遣ってくれたり、面白い授業をしてくださるので楽しく学ぶことができました。中間テスト、期末テストでは文法や聞き取り、読み取りは上手くいったのですが、会話や筆記は普段の授業を受けているだけでは足りなく、普段からもっと積極的に韓国語を使って話したり、韓国語で文章を書く練習をもっとするべきだったと反省しています。

午後からの文化の授業は、韓国事情、韓国の歌、映画、ゼミナールの4つの授業に分かれていました。特に韓国の歌では1人1人が好きな歌を紹介し、その歌をみんなで歌うという授業で、今まで聴いたことがなかった歌をたくさん聴くことができとても楽しかったのを覚えています。韓国語の歌を聴くことで韓国語を聞き取る助けにもなり、いい経験になりました。また、ゼミナールでは日本と韓国の違いについて知ることができ、最終課題であった個人発表では自分でテーマを決め、それについて調べ、すべて韓国語で発表しなければならないというもので、とても大変だったのですがその分韓国語の能力もあがったのではないかなと思います。



●日常生活

私たちは大学の近くにある「チャンドグァン」という寄宿舎で生活しました。ルームメイトは、国情生の佐藤帆乃佳さんでした。私たちの寄宿舎は設備が整っていて、部屋も綺麗で、日本での生活とは違うところもありましたが、不便なく過ごすことができました。日常生活に必要なものは、寄宿舎の近くにあるスーパーやコンビニ、100円ショップなどでほとんど揃えることができ、非常に住みやすい環境でした。

留学に来た当初は、まだ分からないことも多く、不安もあったので留学メンバーで外出することが多かったのですが、慣れてくると少人数や1人で外出するようになりました。そうすると買い物をする時に店員さんに声を掛けられ話したり、街を歩いている時に韓国人に道を聞かれたり、少人数や1人で行動することで自然と街で韓国語を使う機会が増えるようになり、韓国語能力の向上にも繋がったと思います。ソウルには明洞や東大門などの有名な観光地だけではなく、安い服がたくさん売っている街やお洒落な人たちが集まるファッションの街など様々あり、休日のたびに地下鉄に乗りいろいろな場所に遊びに行っ

ていました。特に私は k-pop の superjunior が好きなので、休日を使って友達と事務所やメンバーの家族が経営しているカフェに通ったりしました。そこで好きなメンバーの弟とたくさん話すことができ、仲良くなることができとても幸せな時間でした。また、ソウルであったコンサート、そして事務所前で行われたハイタッチ会などメンバーに何度も会うことができ、最高の思い出になりました。



また、韓国で年に一度開催されるファッションウィークというイベントに行ったこともいい思い出です。各国からお洒落な人が集まってきていて、感じたことのないような雰囲気、そして周りの人のお洒落さに圧倒されました。そんな素敵な場所でスナップを撮ってもらい、お洒落な人たちをたくさん見ることでとても刺激になり、もっと頑張りたいと思うことができました。



食事の面では、昼食は基本的に大学の食堂でとり（200円～400円）、夕食は寄宿舎の部屋にはキッチンも備え付けてあったのでそこで自炊をするか、外食をしていました。基本的に毎日韓国料理を食べていましたが、食べ物で困ることはなかった気がします。私はあまり辛いものが食べられる方ではないのですが、韓国料理には辛くなく美味しい料理もたくさんあり、また毎日食べていると最初辛いと感じたものが、全く辛く感じなくなるなんてこともあります。少し値段が高いですが、大学の周りに日本料理屋さんもたくさんある

ので、日本食が恋しくなったとしても安心です。

●友達

留學生活がここまで楽しく有意義に過ごせたのは、一緒にいてくれた友達のおかげだと思っています。まずは、ルームメイトの佐藤帆乃佳さん。友達とはいえども4ヶ月の間一緒に住むことは大変なことですが、喧嘩もせずぶつかることもなく、楽しく過ごせたのは帆乃佳さんのおかげです。留学前から仲は良かったのですが、一緒に日々を過ごすことでいろいろな面を見ることができ、いろいろな話をする中で更に仲良くなれた気がします。ルームメイトが帆乃佳さんで本当に良かったと心から思います。



私のトウミを4ヶ月間してくれたヨンジュオッパ。オッパは初対面の時から、緊張して上手く話せない私にたくさん話しかけてくれ、そのおかげですぐに馴染むことができました。食べることが大好きな私を美味しいおすすめのお店に連れて行ってってくれたり、一緒に動物園に行ったり、お酒を飲みに行ったりもしました。初対面からしばらくして慣れてくると、お互いをからかったり、深い話もたくさんして本当のお兄ちゃんのような感じでした。また、韓国人のオンニと仲良くなりたがっている私に女友達を紹介してくれ、優しく可愛いオンニが2人もできてとても嬉しかったです。オッパのおかげで韓国人との繋がりを広げることができ、感謝してもしきれません。



初級2のクラスメート。みんな

な明るく元気で、毎日楽しく授業を受けることができたのは彼らのおかげです。最初の頃はお互い拙い韓国語しか使えないため、表情やジェスチャーを使いながら上手くコミュニケーションをとっていたのですが、日々授業を受け単語や文法を勉強していくたびに以前よりもスムーズに会話ができるようになり、それが喜びになりまたそれが勉強する意欲になりました。また私のクラスメートは私よりも韓国語を話せる人が多く、その人達に追いつきたい、もっと自分の気持ちを伝えたいという気持ちが勉強する意欲になり、お互いが刺激となりクラス全体で成長できたような気がします。クラスメートの誕生日の時には毎回パーティーをし、授業以外でも一緒にご飯を食べに行ったり、カラオケに行ったり、友達の家遊びに行ったり、書き表せないほどの思い出があります。韓国語という1つのものでこんなにいろいろな国の人と繋がることができ、こんなにも仲良くなることができ、不思議な気持ちでもあり、とても嬉しく思います。

留学生活で出会った日本人たち。外国人の友達がたくさんできたのはもちろん嬉しいことですが、この留学生活でたくさんの日本人とも出会いました。みんな様々な県から韓国語を学びに韓国へ来ていて、一緒に韓国語を学ぶことでとても刺激になりました。この短い4ヶ月間でしたが、多くの時間を一緒に過ごし、ご飯を食べたりお酒を飲んだりしながらいろいろな話をして仲良くなることができ、出会いは本当に大切だと改めて感じることができました。



もちろん他にもお世話になった人や感謝している人はたくさんいます。この留学生活で

数えきれないほどの素敵な人たちと出会うことができ、この出会いこそが留学して得た一番の宝物だと思います。大好きな人たちがたくさん増えてとても幸せです。

●最後に

最初に言った通り私は留学に行く前、こんなにも韓国を離れたくなくなるとは思っていませんでした。別れを泣いて惜しむような友達ができ、これほど韓国が大好きになっている自分に驚いています。韓国での生活は毎日が新しいことの連続で、留学生活の1分1分を無駄にしないように一生懸命生きていました。きっとそれが充実した留学生活に繋がりと、たくさんの素敵な人達に出会わせてくれたような気がします。

この留学を通して一番感じたことは、積極的に自分から行動することの大切さです。語学はやっぱり声に出して話さなければ上達しません。最初韓国語を話すことに抵抗を感じていましたが、自分の韓国語が相手に通じるととても嬉しく、もっと話せるようになりたいと思い積極的に話しかける努力をするようになりました。そうすると能力の向上を感じることができるようになり、それこそが一番大切なことではないかと感じました。

また、いろいろな国の人と出会うことで、韓国語だけではなく、他の言語も学んでみたいという気持ちが生まれました。更に他の国の人たちのほとんどは英語を話すことができ、英語の必要さを改めて知りました。このように留学をすることで、新しいものに興味を持つことができるようになり、これからの目標も見つけることができました。

言語を学ぶことは確かに日本でもできますが、実際にその国に行き、現地の人たちやその言語と触れ合うことで初めて分かること、その国でしか経験できないことはたくさんあります。また、言語を学ぶだけでなく、異国に1人で暮らすということは思っている以上に大変なことで自分の成長も感じることができ、私にとって貴重な体験になりました。最後に、このような留学という機会を与えてくださり、支えてくださった両親、先生方、友達、関わってくれたすべての方々にとありがとうと伝えたいです。



